

同窓生の皆様へ

五所川原第一高等学校

校長 葛西由起子

同窓生の皆様には、日頃本校の教育活動に対し、温かい御支援・御協力を頂き、心より感謝申し上げます。卒業生による講演会や在校生による五所川原立佞武多参加等、学校運営全般にお力添えを頂いております。

さて、五所川原第一高等学校は、平成30年に創立70周年を迎えます。昭和23年、創始者故館田きね先生によって五所川原家政寮が開設されて以来、幾多の困難を乗り越え、努力を重ねて参りました。年毎に校運も隆昌の一途を辿り、昭和32年には家政高等学校に発展し、時代の推移と地域社会の要望により昭和40年には商業科、昭和47年には普通科が併設され男女共学制となり、校名も五所川原第一高等学校と改めました。同時に、校旗の樹立、校歌、校訓、校章の制定を行い、新時代の要望に対処すべく進学教育と資格取得教育の二大目標を掲げました。「青森県第一の進学校になろう」、「青森県第一の資格取得校になろう」は、現在も励むべき生徒の目標となっております。創立以来の卒業生は9千名余の多きにのぼり、この少子化時代に於いても生徒数は高い推移を保っております。

教育は、次代を背負っていく人材を育てる使命を帯びております。本校は、これまで自負と誇りを持ち、教育活動に取り組んできました。RCD校舎に続き、第二RCD校舎の落成、特別進学コースの強化策として、通信衛星授業の導入、また、柔剣道場、剣道場、卓球会館の落成と文武両道の充実に努めてきました。同時に高度情報化に向けて、コンピュータ施設設備の整備充実にも鋭意取り組みました。そして、韓国富川女子高等学校と姉妹校の締結により、韓国への修学旅行等国际交流を含め、地域社会の動向やニーズに応えながら、創造性に富み、豊かな人間性と国際感覚を持った、未来を切り拓く人材を育ててきました。更に、平成21年には、通信制課程が開設されました。様々な理由と目的を持った学びたい生徒に、学びの機会を与え、夢への一步を踏み出してもらいたいという願いから、青少年や地域社会のニーズに応えたものでした。

このような中で、同窓生の皆様は、輝かしい実績を残され、本校の名誉を高められました。全日本高校少林寺拳法大会における女子団体演部完全優勝、東北大学、弘前大学医学部の合格は、今も誇るべき成果ですが、少林寺拳法部や剣道部のインターハイ出場、津軽三味線部、吹奏楽部を始めとした部活動の躍進に目を見張るものがあります。同窓生の皆様の実績を継承し、学校の更なる充実と前進に力の限りを尽くす覚悟を新たにしています。五所川原第一高等学校は、過去の歴史に学び、現在は過去の延長にあることを自覚し、未来に向けて新たな伝統を作りあげるべく、生徒、教職員一丸となって日々努力しております。今後も地域から信頼・期待される学校を目指し、生徒一人ひとりを大事に、心の教育を実践し、本校教育の魅力作りに挑戦して参ります。名実ともに青森県一の教育校になる為、教職員一丸となって全力を尽くす所存ですので、同窓生の皆様の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

同窓生の皆様の益々の御健勝、御繁栄を祈念致します。

平成29年4月 同窓会名簿発行によせて

同窓会

令和元年5月11日（土）立佞武多の館内で開催された
令和元年度総会において、平成30年度の活動報告、決算報告
令和元年度事業計画、予算について審議され、満場一致で事務局（案）が承認されました。
また、会則改正については、同窓会の名称変更について提案されました。

会則第1条において規定されている「学校法人館田学園同窓会」を、
「館田学園五所川原第一高等学校同窓会（略称を「五一高同窓会）」と変更することが提案され、
出席者全員の賛成をもって承認されました。
今後は、変更された名称で活動が行われます。

同窓会では、卒業された同窓生の皆様からの連絡をお待ちしております。

近況報告や情報を、随時受付しております。

連絡・お問い合わせは

同窓会メールアドレス dousou@goichiko.jp まで

メール内容を確認後、同窓会事務局よりお答え（返信）致します。



令和元年度 同窓会 事業計画

| No. | 日時 | 曜日 | 事業名 | 場所 | 参加者 | 内容等 |
|-----|-----------------|----|-----------------------------|--------------|-----------------|---|
| 1 | 4月7日 15:20~ | 土 | 同窓会入会式 | 本校体育館 | 会長 副会長 監査 | 新入生（新会員） 134名 《入会記念品贈呈》 |
| 2 | 4月17日 18:00~ | 水 | 第1回役員会 | 本校会議室 | | 平成30年度 事業報告 平成30年度 会計監査報告 平成30年度 収支決算報告 令和元年度 事業計画(案) 令和元年度 予算(案) 令和元年度 同窓会総会について |
| 3 | 5月11日 17:00~ | 土 | 令和元年度 同窓会総会 ・懇親会 | 立ねぶたの館 春楡 | | 平成30年度 事業報告 平成30年度 収支決算報告 令和元年度 事業計画(案) 令和元年度 予算(案) |
| 4 | 5月19日 | 日 | 令和元年度 新卒者・ 同窓生激励 会 | | | 令和元年度から総会を実施しない。 |
| 5 | 8月上旬 (一日のみ) | | 立佞武多参加 流し踊り(1年生) | 市内 | | 1学年が流し踊りに参加。跳人は従来通り有志を募り参加。 |
| 6 | 11月 日 | | 第2回役員会 | 本校会議室 | | 令和元年度事業中間報告 立佞武多総括 令和元年度「若人を励ます会」について 令和元年度卒業記念品について |
| 7 | 2月28日 | 金 | 若人を励ます会 | 本校体育館 | | 卒業生（会員） 206名 《卒業記念品贈呈》 |
| 8 | 3月 日 | | 第3回役員会 | 本校会議室 | | 令和元年度 会計中間監査 令和2年度 事業中間報告 令和2年度 予算(案) 令和元年度 卒業生について 令和2年度 同窓会入会式について(案) 令和2年度 同窓会総会について(案) 令和2年度 第1回監査役員会について(案) その他 |

平成30年度 同窓会 事業報告

| No. | 日時 | 曜日 | 事業名 | 場所 | 参加者 | 内容等 |
|-----|--------------------------|----|---------------------------------|--------------|-------------------------------------|---|
| 1 | 4月7日 15:20~ | 土 | 同窓会入会式 | 本校体育館 | 会長 | 新入生(新会員) 193名 《入会記念品贈呈》 |
| 2 | 4月11日 18:00~ | 水 | 第1回監査 | 本校会議室 | 監査委員 2名 | |
| 3 | 4月16日 18:00~ | 月 | 第1回役員会 | 本校会議室 | 会長・監査 幹事・教員 含め6名 | 平成29年度 事業報告 平成29年度 会計監査報告 平成29年度 収支決算報告 平成30年度 事業計画(案) 平成30年度 予算(案) 平成30年度 同窓会総会について |
| 4 | 5月12日 17:30~ | 土 | 平成30年度 同窓会総会 ・懇親会 | 立ねぶたの館 春楡 | 出席者41名 | 平成29年度 事業報告 平成29年度 収支決算報告 平成30年度 事業計画(案) 平成30年度 予算(案) |
| 5 | 5月20日 | 日 | 平成30年度 関東支部 同窓会総会 ・懇親会 | イトウ はやしや | 出席者25名 | 平成30年度 関東支部同窓会総会 新卒者激励会・懇親会 |
| 6 | 8月7日 (一日のみ) 15:00~ | 月 | 立佞武多参加 流し踊り(1年生) | 市内 | 参加人数 同窓会・保護 者・教員・生徒 のべ246名 | 同窓会の事業として、H28年度より、 70周年記念事業として先行実施。 1学年が流し踊りに参加。ハネトは従来 通り有志を募り参加。 |
| 7 | 11月28日 | 水 | 第2回役員会 | 本校会議室 | 顧問・会長 副会長・監査 幹事・教員 含め14名 | 平成30年度事業中間報告 平成30年度会計中間監査 立佞武多総括 平成30年度「若人を励ます会」について 平成30年度卒業記念品について |
| 8 | 3月1日 | 金 | 若人を励ます会 | 本校体育館 | 副会長 | 卒業生(会員) 176名 《卒業記念品贈呈》 |
| 9 | 3月27日 | 水 | 第4回役員会 | 本校会議室 | 顧問・会長 副会長・監査 幹事・教員 含め7名 | 平成30年度 会計中間監査 平成31年度 事業計画(案) 平成31年度 予算(案) 平成30年度 卒業生について 平成31年度 同窓会入会式について(案) 平成31年度 同窓会総会について(案) 平成31年度 第1回監査役員会について (案) その他 |